

# 浜辺は誰のもの？

## きれいな海岸を 取りもどそう！！

海岸の一斉清掃が毎年行われているにもかかわらず、いつこうに減る様子のない海岸のごみ。特に堤防から投げ捨てられているごみの量は多く、堤防とテトラポットの間は目をそむけたくなるような状態です。

もちろん、川に投げ捨てられるごみも海を汚し、海岸を汚しています。こうした、一部の人の軽はずみな行為によっていつまでたっても海岸はきれいになりません。

自分の庭にごみを捨てればなしにしても平気ですか。海岸はごみ捨て場ではありません。みんなの憩いの場です。ごみを捨てようと思ったとき、自分の都合ばかり考えず、他人の迷惑も考えてください。

### 海岸にごみを

#### 捨てないで

海岸沿いでハウス園芸を行っている地域では、農作業の過程で生じるごみがそのまま海岸に捨てられている個所がいくつかあります。あくまでも海岸は一人のものではなくみんなのもので、焼却処分しても残された景観はあまり感心できるものではありません。面倒でも収穫後の作物やハ

ウス園芸用資材等のごみは海岸へ捨てずに自家処理するか、許可業者への搬入及び市の許可を受けた収集業者へ依頼してください。

### 浜辺を汚す

#### 川からのごみ

川へ捨てたごみは最終的には海にたどり着き、海岸に打ち上げられます。軽い気持ちで捨てられたごみが川を流れていき下流を汚し、海を汚し、

### 海岸を汚すのです。

捨てたごみが捨てた場所に残っていれば後で拾うこともできますが、流れていったごみは他人に迷惑をかけ続け、なかなか回収できるものではありません。海へ行ってみてください。海岸に打ち上げられているごみはあなたの捨てたごみかもしれませんよ。

ごみのない川を作ることがきれいな海岸につながります。美しい海岸を守っていくためにも川にごみを捨てるのはやめてください。



### 海岸美化へ

#### 一斉清掃



ごみで汚くなった海岸もそ

のまま放って置くとますます汚れてしまいます。そこで、官民一体となった海岸の一斉清掃が毎年行われています。今年も七月二十一日に「美しい海岸みんなで守ろう」と

建設省、高知県、南国市、海岸地域美化推進協議会が共催して行われました。

清掃は朝早くから行われ、久枝、前浜、浜改田、十市の海岸沿いの住民の方ら約二千人が参加。ごみ袋を片手に約二時間にわたってごみを回収しましたが、毎年清掃するにもかかわらず、毎年減る様子のないごみに参加者もあきらめ顔。

海岸の美化は一人一人のモラルの問題です。ごみを捨てる前に汚れた海を思い起こしてください。



### 海岸美化は

#### 河川美化から

海岸の美化は、まず河川の美化からと、河川愛護月間の七月七日、物部川の河川敷で清掃作業が行われました。建設省の主催で毎年実施されているもので、地元の住民ら約四百人が参加。

参加者は朝の八時に集合。野市町の深淵から南国市の下野内までの物部川の右岸を約一時間かけて清掃。空き缶やビニールなど二トトラックに三分のごみを回収しました。

### おわびと訂正

七月十五日号広報なんこく二ページ「六月定例市議会市政報告」で「一般廃棄物最終処分場については、地元の同意を得たので、今後実施設計、用地交渉に向けて地元の方々の協力をいただきながら事業を進めていく」と、一般廃棄物最終処分場の建設そのものに地元の同意が得られたような記事になっていましたが、これは「一般廃棄物最終処分場につきましても、地元のご同意を得て、地形測量、ボーリング地質調査、環境影響事前評価、基本設計を終え、引き続き用地の一筆測量を実施する運びとなっています。これらを順調に進捗させるとともに引き続き地元の皆様のご協力をいただきながら、実施設計、用地交渉等へ事業を進めていきたいと考えております」を編集段階で前述のような事実と相違するような印象を与える記事にしてしまったものです。

おわびして訂正します。